

# 愛育病院に通院または入院された(通院または入院されている)患者さまへ

— 臨床研究の情報公開 —

2026年 5月 29日  
医療法人菊郷会愛育病院 院長

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた患者さまの記録などをまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究情報を公開し、研究の対象となることを拒否できる機会を保証することが必要とされております(研究対象患者さまの一人ずつから直接同意を得ることはいたしません)。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の[問い合わせ先]へご照会ください。

## [研究課題名]

肝硬変患者における門脈大循環シャント閉鎖術が肝予備能に与える影響

## [研究機関・長の氏名]

医療法人菊郷会愛育病院 院長 盛 暁生

## [研究責任者・所属]

医療法人菊郷会愛育病院 消化器内科 町田 卓郎

## [共同研究機関・研究責任者]

医療法人菊郷会愛育病院 消化器内科  
中島 紗慧、今川 貴之、野村 眞守美、宮下 憲暢、岡本 宗則

## [研究の目的]

肝硬変などに伴う門脈圧亢進症は、難治性腹水、食道・胃静脈瘤に加え、門脈大循環シャント(Portosystemic shunt:PSS)が形成され、シャント型肝性脳症の原因となる。PSSによるシャント型肝性脳症は薬物治療に難渋することが多く、IVRによるシャント閉鎖術が有効と報告されている。

シャント閉鎖術の治療成績と、肝予備能に与える影響を検討することを目的とする

## [研究の方法]

下記の患者さま情報を愛育病院消化器内科にてした集約し集計、分析を行う。

### ○対象となる患者さま

2020年1月1日～2026年12月31日の間に、肝硬変にて当院で入院しシャント閉鎖術を施行した患者さま

### ○利用する情報

診療録(電子カルテ等)に記録されている患者さま情報(診断名、診断日、年齢、性別、転帰、治療内容、画像データ、内視鏡写真、採血データ)

## [研究の期間]

病院長許可日 ～ 2031年3月31日(研究許可期間)

#### [個人情報の取り扱い]

利用する情報につきましては、お名前、住所など、ご本人と直接同定できる個人情報は削除します。また、研究結果は学会や学術雑誌、データベース等で発表されますが、その際もご本人と特定できる個人情報は利用しません。

#### [問い合わせ先]

北海道札幌市中央区南4条西25丁目2-1

医療法人菊郷会愛育病院 消化器内科 担当医師 町田 卓郎

電話 011-563-2211 FAX 011-522-1691